

令和7年度 授業改善推進プラン

<第2学年>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを明確にして、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える力 既習の漢字や言葉を文章の中で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> 考えや感じたことを「話す」ことには意欲的で、友達と意見を交流する場面では活発に表現する姿が見られる。しかし、その思いや考えを文章にまとめる段階において、順序立てて整理したり、文をつなげて書いたりすることが苦手である。 漢字を読むことはできるが、「書く」力が十分に身に付いていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す活動を出発点とし、「伝えたいことをまず口で言う→それを短い文にする→分をつなげて段落にする」という流れで学習に取り組みせる。 日常的に文章を書く機会を確保するために、週末の課題に日記を設定する。友達に伝わるように書く喜びや達成感を積み重ね、自分の思いを「書いて表現すること」にも自信をもてるようにする。 言葉集めや漢字クイズなど楽しく学べる工夫を取り入れる。 日記、作文等の指導では、既習の漢字を意識できるように添削をする。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数学的に考える力をつける。 「長さ・かさ・時間」の単位や測定方法を理解し、生活に生かして使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「長さ・かさ・時間」の問題で文章を読んで意味を捉える力が弱い。 単位の意味（1m=100cm、1時間=60分など）が定着していない。 実生活の中で「どれくらい長いか・どれくらい多いか・どれくらいかかるか」という感覚（量感）が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の知識・技能を使い、自分の考えを図・絵・言葉・数式などで表す活動を取り入れる。 ペアやグループで意見を交流し、答えを確かめ合う時間を設ける。 身近な題材を活用する（例：教室の長さを測る、水をコップに入れて比べる、給食や休み時間の長さを時計で確かめる）。 単位の意味をしっかりと理解させ、繰り返し生活場面で使わせることで量感を定着させる。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
生活科	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学び、生活を豊かにしようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> 動植物との触れ合いは好むが、日常的に世話を続けたり、担当でない子が進んで関わったりする姿は少ない。 本校周辺には多くの大使館があり、児童は国際的な雰囲気にならに触れている。しかし、その理解は表面的なものにとどまりやすく、地域の特色を自らの生活や学習に結び付けて深める力が十分に育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お世話 day」を設定して、動植物にかかわる機会を確保する。 育てた植物や動物の様子を友達や他学年に伝える活動（展示・発表・招待）を通して、関心を高める。 町探検の事前学習として、地図や国旗カードを用いて周辺の大使館を調べ、国や文化への関心を高める。 地域の方や大使館関係者に話を伺うなど、直接のかかわりを取り入れ、学びを具体的に深める。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第2学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 児童が音楽表現を考え、自分の思いや気持ちを込めて音楽活動に取り組むことができるようにする。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正確な運指で鍵盤ハーモニカを演奏する技能 音色に気を付けて歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想や歌詞の意味を生かして声や楽器の音色を工夫したり表現したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 指の名前や番号、演奏する手を定期的に確認する。 階名唱に加えて、指番号唱を行うことで十分に慣れ親しんだ状態で演奏に取り組む。 表現の工夫を考える前に、感じ取った曲想を共有したり歌詞の意味を考えたりする時間を設け、思いをもって表現の工夫ができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> 色や形の違いに気付き、手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、創造的につくったり表したりする。 表したいことに向かって楽しく発想や構想を広げ、身の回りの作品などから自分の見方、感じ方を広げる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な材料、用具の扱い方を定着させること。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料や用具、言葉、色等から楽しく発想や構想を広げられること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具や材料から想像を広げ、楽しく取り組むことができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具の安全な扱い方を徹底し、体全体の感覚を働かせながら、材料や用具を扱い、基礎・基本的な技術の定着を図る。 さまざまな材料や用具を使いながら、感じ方や想像したことを基に、楽しく発想や構想を広げられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動の技能 各種の運動遊びの行い方を工夫する。 考えたことを他者に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能（投げる・走る・のぼる・おりる・ぶら下がる等）の習得に個人差が大きい。 友達との関わりの中で、協力したり相手の工夫を認めたりする経験が不足している。 自分の考えや工夫を言葉で友達に伝えることが十分にできない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 投げる・走る・のぼる・おりる・ぶら下がる等の動きの基本となる運動に重点を置いた活動を週に1度は行い、基本的な技能を身に付させる。 学習カードやペアワークを活用し、友達のよいところや自分の工夫したところを伝える機会を積極的に設ける。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動に親しむ態度 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ること 	<ul style="list-style-type: none"> NTの発音やゲームのルール説明を正確に聞き取れず、学習活動に消極的な児童がいるため、そのような児童には適切に個別の支援を行うことで、意欲的に取り組むことができるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第2学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 善悪の判断、自律、自由と責任 ・ 親切、思いやり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 善悪の判断を、表面的に良い・悪いだけで捉えてしまい、理由や背景まで深められない児童がいる。 ・ 思いやりの心や親切の気持ちのある行動が一部の友達に限られ、広がり欠ける。 ・ 自分の意見を言うことはできても、相手の考えを受け止めたり共感したりする力が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の体験を想起しやすい資料や題材を準備する。 ・ 考える必然性のある発問や自由な思考を促す発問を行う。 ・ ペアやグループでの対話活動を取り入れる。 ・ 書く活動や発表を通して、自分の考えを整理・表現する時間を確保する。 ・ 動作化や役割演技を通して理解を深め、自分事として考えられるようにする。 ・ 振り返りの時間を設けてこれまでの自分を振り返らせ、自分自身の生き方や人との関わりについて考えさせる。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級生活の充実や向上のために、主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番や係の仕事は分かっているが、「自分から進んでやってみよう」という気持ちが続かない場合がある。 ・ 活動の振り返りでは、「できたこと」や「友達のよかったところ」を言葉にするのが難しく、次の活動への意欲につながりにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動の成果をポスターや発表で紹介する機会を図り、意欲を高める。 ・ 定期的に「できたことカード」や「友達のいいところ見つけ」などの振り返り活動を取り入れ、自身や友達を称賛できるようにする。